

三条商工会議所景況調査概況

【令和6年10月～12月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した令和7年1月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国324商工会議所が2,455企業にヒアリング。回答数1,986件
＜三条地域＞会議所会員事業所400社を対象にアンケート調査。回答数199件
- DI値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員DIは（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

1月の全産業合計の業況DIは、▲15.4（前月比▲1.0ポイント）

サービス業は、感染症の拡大により、飲食・宿泊業で伸び悩みが見られ、悪化した。小売業は、初売り需要等により百貨店では好調な一方、消費者の節約志向が根強く、ほぼ横ばいにとどまった。製造業・卸売業は、気温低下から冬物飲食料品や繊維製品の需要が増加したものの、機械器具関係が振るわず、停滞した。また、建設業は民間工事・公共工事ともに伸び悩みが見られ、足踏み状態となった。

コスト増が続く中、円安基調、政府の燃料油価格激変緩和補助金の縮小等、さらなる負担増加が続いている。度重なるコスト増に見合う価格転嫁が追い付かない中、深刻な人手不足も続いており、中小企業の業況は、3か月ぶりに悪化となった。

先行き見通しDIは、▲16.4（今月比▲1.0ポイント）

新年度への準備等で個人消費拡大が見込まれる一方、長引く物価高による消費マインドの低迷が懸念される。また、第2次トランプ政権の発足による世界情勢の動向を不安視する声が業種問わず聞かれた。

旺盛なインバウンド需要が続く中、中国の春節等でのさらなる期待が見られるものの、国内消費は停滞感が底堅く、先行きは慎重な見方となっている。

全国の1月産業別業況

【建設業】

「民間工事では、大型の工場建設の受注がある等、一部では設備投資需要が見られるものの、原材料・エネルギー価格の高騰で以前よりも収益が圧迫されている。また、公共工事は、足元で減少していることに加え、価格競争が激化しており、価格転嫁が進まず困っている」（一般工事業）、「物価高で新築住宅の需要が低迷している。補助金活用や提案力の強化など業務体制の見直しで顧客満足度を上げ、差別化を図っていきたい」（建築工事業）

【製造業】

「深刻な人手不足の中で採用にかなり苦労している。また、採用できても若年層の離職が多く、人材育成が進まない。年間休日数を増やすなど福利厚生の拡充に努めているが、その結果として稼働日数が減少するため、従業員の生産性向上に向けて取り組む必要がある」（自動車・付属品製造業）、「ガソリン補助金縮小により、輸送費の負担増はもちろんのこと、生産コスト全てが上昇しており、苦しい状況にある」（プラスチックシート製造業）

【卸売業】

「円安基調の中、仕入価格や輸送費、エネルギー価格など様々なコスト増に対して、価格転嫁が追い付いていない。また、消費者の節約志向が根強い為、一度価格の上がった商品は需要が少なくなり、価格の安い代替品を求められる。仕入れ調整をしないと収益の確保が難しい」（食料・飲料卸売業）、
「従業員の高齢化・慢性的な人手不足が続いているが、人材確保は難しいため、システム導入等で生産性向上を図っていく」（一般機械器具卸売業）

【小売業】

「輸送費の上昇、配送会社の人手不足で納品遅延が発生している。これまではカテゴリー別に納品を分けてもらっていたが、混載での配送を許容することで安定した納品がされ始めている。しかし、仕分けを自社で行わないといけないため、その分の労務費が上昇してしまっている」（総合スーパー）、
「価格転嫁を進めているが、顧客への説明・社内システムの改修等、事務手続きが煩雑で、本業以外に時間を割かれてしまっている」（事務用品小売業）

【サービス業】

「インフルエンザ等の感染症がまん延したことで、宴会数が減少。コロナ禍で受けた融資の元金返済猶予をせざるを得なくなってしまった」（飲食店）、
「大型案件の受注に成功し、これに伴って設備投資・人材確保が必要なため、金融機関へ相談し、無事に資金調達ができた。コスト増で経営は依然として苦しいものの、新規事業の立ち上げも控えており、これからの展望に期待している」（ソフトウェア業）

【令和6年10月～12月期の三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<https://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況DIは、令和5年度第3四半期(R5年10～12月)比(以後、前年同期比という)では▲30(前期差2ポイント減)となった。業種別では、建設業が▲8(前期差±0ポイント)、製造業が▲41(前期差6ポイント減)、卸売業が▲34(前期差2ポイント増)、小売業が▲50(前期差12ポイント減)、サービス業が▲10(前期差4ポイント増)となった。前回調査に比べ、製造業、小売業はDI値が減少、建設業、卸売業、サービス業はDI値がほぼ横ばいで推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況DIは▲8(前期差±0ポイント)、採算DIは▲19(前期差15ポイント減)、売上額DIは▲12(前期差16ポイント減)、従業員DIは±0(前期差4ポイント増)となり、業況DIは横ばい。従業員DIは増加したが、採算DI、売上額DIは減少で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況DIは▲41(前期差6ポイント減)、採算DIは▲29(前期差2ポイント増)、売上額DIは▲21(前期差15ポイント増)、従業員DIは+7(前期差4ポイント増)となり、採算DI、売上額DI、従業員DIは増加したが、業況DIは減少で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況DIは▲34(前期差2ポイント増)、採算DIは▲27(前期差6ポイント増)、売上額DIは▲12(前期差11ポイント増)、従業員DIは+8(前期差4ポイント増)となり、業況DI、採算DI、売上額DI、従業員DIとも増加で推移した。

【小売業】

小売業では、前年同期比の業況DIは▲50(前期差12ポイント減)、採算DIは▲27(前期差23ポイント増)、売上額DIは▲41(前期差13ポイント減)、従業員DIは▲5(前期差5ポイント減)となり、採算DIは増加したが、業況DI、売上額DI、従業員DIは減少で推移した。

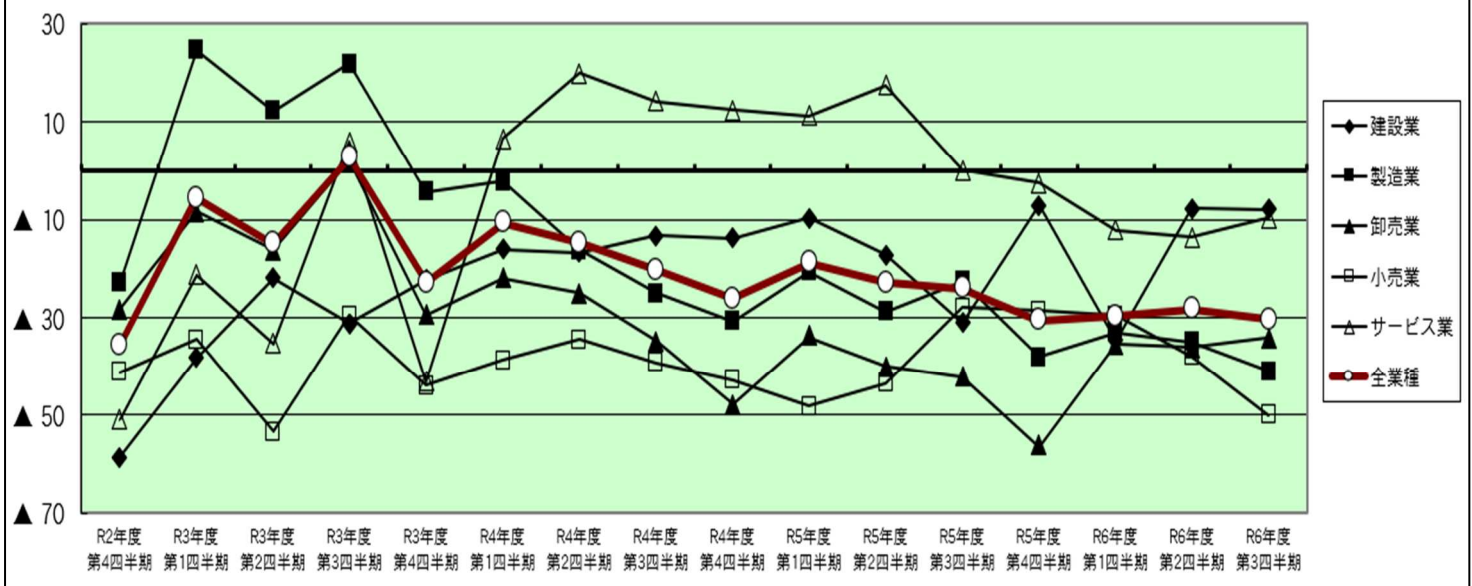
【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況DIは▲10(前期差4ポイント増)、採算DIは▲28(前期差12ポイント減)、売上額DIは▲12(前期差10ポイント減)、従業員DIは▲8(前期差8ポイント減)となり、業況DIは増加したが、採算DI、売上額DI、従業員DIは減少で推移した。

三条地域の業況 DI(前年同期比)の推移 ※DI 値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	R2 年度	R3 年度				R4 年度		
	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期
全業種	▲ 36	▲ 6	▲ 15	3	▲ 23	▲ 11	▲ 15	▲ 20
建設業	▲ 59	▲ 38	▲ 22	▲ 31	▲ 22	▲ 16	▲ 17	▲ 13
製造業	▲ 23	25	12	22	▲ 4	▲ 2	▲ 16	▲ 25
卸売業	▲ 28	▲ 8	▲ 16	2	▲ 29	▲ 22	▲ 25	▲ 35
小売業	▲ 41	▲ 34	▲ 53	▲ 30	▲ 44	▲ 39	▲ 34	▲ 39
サービス業	▲ 51	▲ 21	▲ 35	6	▲ 43	7	20	14
	R4 年度	R5 年度				R6 年度		
	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期
全業種	▲ 26	▲ 19	▲ 23	▲ 24	▲ 31	▲ 30	▲ 28	▲ 30
建設業	▲ 14	▲ 10	▲ 17	▲ 31	▲ 7	▲ 35	▲ 8	▲ 8
製造業	▲ 31	▲ 21	▲ 29	▲ 23	▲ 38	▲ 33	▲ 35	▲ 41
卸売業	▲ 48	▲ 34	▲ 40	▲ 42	▲ 57	▲ 35	▲ 36	▲ 34
小売業	▲ 43	▲ 48	▲ 43	▲ 28	▲ 29	▲ 30	▲ 38	▲ 50
サービス業	13	11	18	0	▲ 3	▲ 12	▲ 14	▲ 10

業況DI推移 (前年同期比)

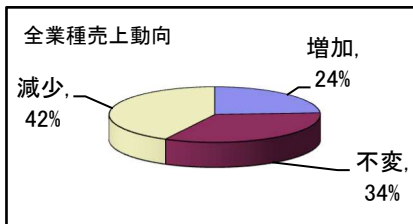


令和6年度 第3四半期(2024年10月～12月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

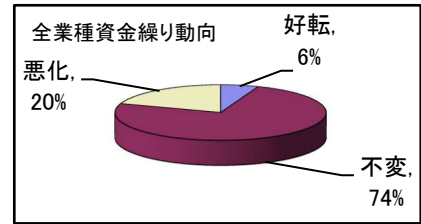
業種別売上動向（前年同期比）

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	50	70	88
	%	24%	34%	42%
建設業	件数	6	11	9
	%	23%	42%	35%
製造業	件数	21	20	37
	%	27%	26%	47%
卸売業	件数	10	16	15
	%	24%	39%	37%
小売業	件数	1	11	10
	%	5%	50%	45%
サービス業	件数	12	12	17
	%	29%	29%	41%



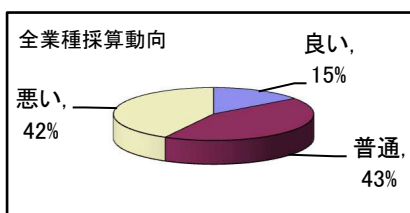
業種別資金繰り動向（前年同期比）

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	12	154	41
	%	6%	74%	20%
建設業	件数	2	20	4
	%	8%	77%	15%
製造業	件数	5	55	18
	%	6%	71%	23%
卸売業	件数	3	31	7
	%	7%	76%	17%
小売業	件数	0	17	5
	%	0%	77%	23%
サービス業	件数	2	31	7
	%	5%	78%	18%



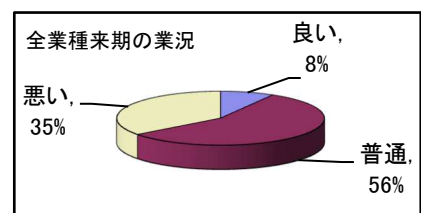
業種別採算動向（前年同期比）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	31	89	87
	%	15%	43%	42%
建設業	件数	4	13	9
	%	15%	50%	35%
製造業	件数	12	31	35
	%	15%	40%	45%
卸売業	件数	7	16	18
	%	17%	39%	44%
小売業	件数	1	14	7
	%	5%	64%	32%
サービス業	件数	7	15	18
	%	18%	38%	45%



業種別来期(2025.1～3月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	14	94	59
	%	8%	56%	35%
建設業	件数	1	13	7
	%	5%	62%	33%
製造業	件数	9	36	20
	%	14%	55%	31%
卸売業	件数	1	16	15
	%	3%	50%	47%
小売業	件数	1	7	6
	%	7%	50%	43%
サービス業	件数	2	22	11
	%	6%	63%	31%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。

<https://www.sanjo-cci.or.jp>